

川崎重工業株式会社

NO.2026006

2026年4月8日

ばら積運搬船「MARIDORA」の引き渡し

川崎重工は、中国遠洋海運集団有限公司と共同運営している南通中遠海運川崎船舶工程有限公司（NACKS、中国南通市）において、64型ばら積運搬船「MARIDORA（マリドラ）」（当社第8105番船／NACKS第488番船）を引き渡しました。



ばら積運搬船「MARIDORA」

<特長>

- 1) 船首楼付き平甲板型で、穀類、石炭、鉱石などの貨物を搭載可能な5つの船倉を有しています。また、各ハッチカバー間の船体中心線上に4基の30トンデッキクレーンを装備し、荷役設備の無い港湾でも荷役作業が可能です。
- 2) 省燃費型の電子制御式ディーゼル主機関を搭載するとともに、推進効率の高い形状のプロペラ、当社が開発したカワサキフィン付ラダーバルブおよびコントラフィン付セミダクトなどの推進性能に寄与する技術を採用することにより EEDI 規制^{※1}のフェーズ3（CO₂排出量の基準値比較 30%削減）を達成しています。

<主要目>

全長×幅×深さ	199.90 m × 32.24 m × 19.40 m				
満載喫水	13.50 m	航海速度	約 13.8 ノット	定員	25名
総トン数	36,520トン	載貨重量	64,178 トン	貨物倉容積	81,432 m ³
主機関	MAN B&W 6S50ME-C9.7-HPSCR ディーゼル機関 1基				
船級・船籍	ロイド船級協会（LR）・マルタ				
引渡日	2026年4月8日				

※1 EEDI (Energy Efficiency Design Index) 規制 :

1 トンの貨物を 1 マイル運ぶ際に排出される CO₂ のグラム数として定義されるエネルギー効率設計指標 (EEDI) を用いて、新造船の省エネ性能に関する規制値への適合を強制する国際規制。EEDI 規制値は建造契約日と引渡日に応じて段階的に強化されます。ばら積み運搬船の場合、2013 年にフェーズ 2 が発効され、2020 年以降の契約船を対象にフェーズ 0 を基準値として 20%の CO₂ 削減が要求されます。フェーズ 3 では 2025 年以降の契約船を対象に、フェーズ 0 比較で 30%の CO₂ 削減が要求されます。

以 上